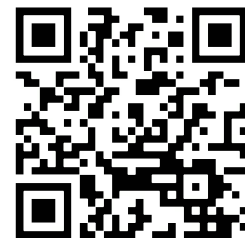


ラジオ関西「聴く医療」に 神戸支部の先生が多数出演 毎週日曜日 19 時 15 分～放送

＜今期の放送は 3 月末まで放送し、YouTube でご覧いただけます＞



10 月 12 日出演した武村義人先生（左）、パーソナリティの寺谷一紀さん（右）に薬の保険ははずしについて語った



▲ YouTube 視聴は
こちらから



11 月 23 日出演した田中孝明先生（左）は
今年のインフルエンザとその他の感染症に
ついて語った

11 月 30 日出演の加茂統良先生（左）は帯状疱疹
の予防接種と単純ヘルペスの新しい治療方法につ
いて語った



今年の 10 月から来年 3 月にかけて毎週日曜日に放送している協会提供のラジオ関西番組「兵庫県保険医協会の聴く医療」。10 月～11 月の放送で神戸支部から 3 人の先生が出演している。「薬の保険ははずし」、「今年のインフルエンザ」、「帯状疱疹の予防接種と単純ヘルペスの新しい治療方法」など市民に知っていただきたい医療政策や健康情報を取り上げ、パーソナリティの寺谷一紀さんとの掛け合いで分かりやすく解説している。

番組は現在放送中、放送内容は YouTube でもご覧いただける。ぜひご視聴いただきたい。
※現在、来年の出演者を募集しています。テーマは市民の方に知らせたい医療情報で、収録は木曜日夕方に実施しています。ご出演希望の方は ☎ 078-393-1807 までご連絡ください。

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

393 号

2025 年 12 月 15 日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5 F
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

東灘区社会保障推進協議会が総会

このままでは地域で医療・介護が受けられなくなる？！



講演を聞く参加者



遠山治彦院長

神戸支部などをつくる東灘区社会保障推進協議会は 9 月 18 日、東灘区内において第 26 回定期総会を開催した。加盟団体から 32 人（うち会場 29 人、オンライン 3 人）が参加した。総会議事では、口分田真会長（神戸支部幹事）が開会のあいさつを行い、24 年度活動のまとめと新年度方針、役員案を承認した。

記念講演では、東神戸病院の遠山治彦院長が「地域から医療機関がなくなる！？これからの医療・社会保障」と題して講演を行った。

遠山院長は、現在の社会の特徴として「少産多死時代」の到来、高齢者の増加による医療・介護需要の拡大、格差の拡大、孤立の深刻化、情報・テクノロジーの進化、戦争・紛争および気候危機の深刻化などが起こっていると、各種資料をもとに説明した。

日本の医療・介護の現状については、社会保障費の抑制政策が継続される中、世界的にも少ない医師・看護師数で医療現場が支えられていること、診療報酬が低すぎるため病院の約 7 割が赤字であり、兵庫県立 10 病院もすべて赤字であることを紹介した。

介護現場についても、訪問介護事業所がゼロの市町村が 2025 年 6 月末時点で 115 町村にまで拡大しており、極めて深刻な状況にあると報告。

（2 面へつづく）

(1 面からのつづき)

医療・介護施設は、もともと社会保障費の抑制により厳しい状況に置かれていたが、報酬が物価上昇に追いつかず、存続の危機に直面していると指摘した。

さらに、保険料の高さや生活苦により、窓口負担を理由に受診をためらい、命を落とす事例が各地で発生していることも紹介した。

遠山院長は、コロナ禍を通じて「医療にはある程度の余裕が必要である」ことが明らかになったと述べ、格差の縮小と貧困の解消、平和で対等な対話ができる社会の実現が求められると強調した。そして、「地域住民の医療を受ける権利を保障するために、医療機関の維持・存続への支援を求める請願署名」への協力を呼びかけた。

1995 年 1 月 17 日 阪神・淡路大震災 あの日・あの時から 31 年 ひと・街・暮らし

ひと・街・暮らし・1・17

ー 31 年目の長田ウォーク

2026 年 1 月 17 日 (土) 9:10 ~

長田区文化センター (東急プラザ) 3 階 講習室 2 にて

協会神戸支部も参加する「震災復興長田の会」は、阪神・淡路大震災から 31 年を迎える日に、メモリアルのつどいを開催します。

あの日から 31 年経ち、現在の長田の街はどうなっているのでしょうか。長田の街を歩きながら、震災復興のあり方を考え、参加者の思いや経験を交流します。ぜひご参加ください。

お申し込み・お問い合わせは、Tel 078-393-1805 事務局・沖野まで

健康情報テレホンサービス

☎ 0120-979-451 携帯 078-393-1824

〈2025 年 12 月のテーマ〉

月曜日 学習障害
火曜日 禁煙しませんか？
水曜日 妊娠中の痔疾患
木曜日 頭を打ったとき
金土日 めまい

※ 年末年始 (12/26 ~ 1/4) お餅の食べ方

開業医の
手作りの健康・
医療情報



健康と医療について語り合う会 ～感想文～

知っていますか？ ひそかに進行する病気、慢性腎臓病



澁谷先生 (右) の話到手話通訳者を通じて参加者は聞き入った

神戸支部は、11 月 27 日に神戸市障害者福祉センターで健康と医療について語り合う会「知っていますか？ひそかに進行する病気、慢性腎臓病～老化と関係あるの？何に気を付けたいの？～」を開催し、15 人が参加。これは聴覚障害者らが医療や健康についての情報を学ぼうと定期的に開催する「聴覚障害者の医療を考える会 (いのちを考える会)」の講師派遣の要請に応え、神戸支部が運営に協力しているもの。中央区・元町 HD クリニックの澁谷浩二先生が講師を務めた。参加者の感想を紹介する。

今年の夏に医療班のメンバーに加えていただいてから、いのちを考える会には 2 回目の参加です。

慢性腎臓病ということで、難しいテーマだと緊張していましたが。でも、講師の澁谷先生の自己紹介で、「勉強をあまりしてなくて、でも仕事だから、色々な人の話を聞いて一緒に考えるようにしている」と言われたそのかざらない言葉で、私の気持ちも会場の雰囲気も、一気に和らいだように感じました。

腎臓のしくみから、全身への影響など、とにかく専門的で内容が多かったので、やはり難しかったのではないかと思います。

今回は参加者が少なく残念でしたが、そのぶん質疑応答の時間が多くとれました。話し口調も表情も柔らかな先生でしたので、聞こえない方も日頃から気になっていることを伝えやすかったのではないのでしょうか。健康への不安を解消したり、生活を改善する具体的な方法を知ることができた良い時間だったと思います。

【兵庫県手話通訳問題研究会 山口 弘美】